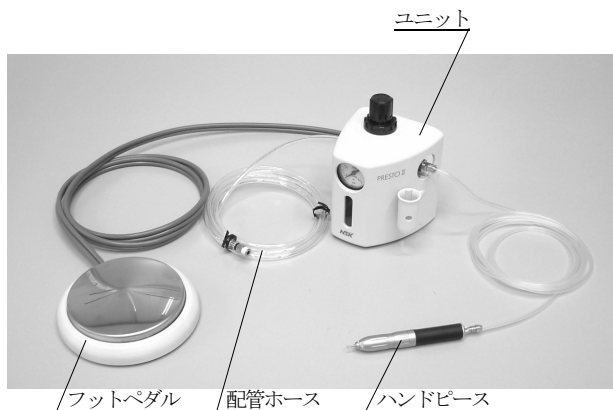


機械器具 61 歯科用ハンドピース
歯科技工用ガス圧式ハンドピース 70745000
一般医療機器

プレスト II

* 【形状・構造及び原理等】

1) 構造



2) 原理

コンプレッサーからの圧縮空気はユニットを介して圧力調整され、ハンドピースのホースへ供給される。その圧縮空気がハンドピース内の給気パイプを経由し、ローターが回転し、その回転力をヘッドに取り付けたバーに伝える。

【使用目的又は効果】

歯科技工における陶歯、ポーセレン、セラミック等の精密技工を行うために用いる。

* 【使用方法等】

1) 使用前準備

- ① コンプレッサーからの配管ホースをユニットの配管コネクタへ接続する。接続後、配管ホースを引いて確認し接続されていることを確認する。
- ② フットペダルのホースをユニットのフットペダルコネクタへ接続する。
- ③ ハンドピースチューブをユニットのハンドピースコネクタへ接続する。
- ④ ハンドピースチューブのもう一方にチューブ抑えリングを差し込み、ハンドピースチューブソケットへ差し込む。
- ⑤ ハンドピース先端に、ISO 1797-1 Type 3で規定されたシャンクをもつφ1.6mm FGバーを取り付ける。

2) 使用方法

- ① エアを入れ、圧力ゲージによりレギュレーターつまみでエア圧を合わせる。
- ② 【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い使用前点検を行う。
- ③ フットペダルを踏むことで、ハンドピースが作動し、使用できる。

3) 使用后

エアの元栓を閉める。

* 【使用方法等に関する使用上の注意】

- ・使用前点検時、又は使用中にガタ、振動、音、温度（発熱）等の異常を感じた場合、直ちに使用を中止すること。
- ・振れ、曲がり、傷、シャンク部に摩耗の見られるバーは使用しないこと。
- ・空気圧は、0.2～0.25MPaを超えないように設定すること。
- ・配管ホースを配管コネクタに押し込む際、しっかりと止まるまで押し込むこと。
- ・ハンドピース回転中はチャック開きリングを回さないこと。
- ・装着するバーのシャンクは清潔なものを使用すること。
- ・ゴミ等の侵入を防ぐため、使用しない時もハンドピースにカバー（テストバー含め）を装着しておくこと。

* 【使用上の注意】

1) 重要な基本的注意

- ・バーの製造販売業者が指定する許容回転速度を超えて使用しないこと。
- ・切削時、防護めがね、研磨ボックス、バキューム等を使用すること。
- ・ハンドピースのチャック部分以外は絶対に注油しないこと。
- ・ユニットのフィルターボウル内に水滴や汚れが見られたら水抜きを行うこと。

2) その他の注意

ハンドピース、ユニットは落下させないこと。また、ユニットは必ず安定した場所に設置すること。

* 【保管方法及び有効期間等】

1) 保管方法

- ・水のかからない場所に保管すること。
- ・気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響が生ずるおそれのない場所に保管すること。

2) 耐用期間

製造の日から、正規保守点検（消耗部品の交換）を行った場合に限り7年間【自己認証（当社データ）による】とする。

* 【保守・点検に係る事項】

1) 清掃

<チャック>

超音波洗浄器等で洗浄後、ローター軸内部にオイルスプレー等を吹き付けてきれいに清掃する。

<ユニット>

フィルターボウル内に水が溜まっていた場合、水抜きする。

・清掃に関する注意

- － チャックは週に1度、ハンドピースから取り外して清掃すること。

2) 使用者による保守点検事項

<使用前点検>

本品を作動させ、ガタ、振動、音、温度（発熱）等に異常がないことを確認する。（毎回）

<消耗部品の交換>

- ① バーが抜けやすくなったり、チャックが破損した場合、チャックを新しいものと交換する。
- ② チャックの保持力が低下した場合、カートリッジを新しいものと交換する。

3) 業者による保守点検事項

専用品である治具・測定器を使用した点検調整（1年に1回）

* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社ナカニシ

ナカニシお客様相談窓口

0120-7242-56

受付時間 9:00～17:00（土日・祝祭日を除く）

TEL：0289-64-3380

FAX：0289-62-5636